

年度 個別の教育支援計画 記入例

在籍園(所)名() 園(所)長名()
 記入者名()
 記入日 年 月 日

ふりがな 幼児氏名		男 ・ 女	生年月日	年 月 日生
保護者氏名			連絡先	
住所	〒			緊急連絡先

<現在の生活・将来の生活についての願い>

保護者の願い	<ul style="list-style-type: none"> ・通常の学級を希望しているが、子どもにとって適切な力を伸ばせる学級で学習させたい。 ・できれば将来は、本人の得意な面を伸ばす進路を考えたい。特別支援学校の高等部に就学して技術を身に付け、就労・自立できることを目指したい。
--------	---

<支援の目標>

<ul style="list-style-type: none"> ・思いが通らなかったときに大人のサポートで思いを言語化し、パニックにならずに納得して次の行動に移れるようにする。 ・視覚的に情報を提示して見通しをもたせ、事前にルールを知らせて確認することで、約束を守って行動できるようにする。
--

<本人の状況と主な合理的配慮>

	本人の状況	支援内容	連絡先・担当
家庭 (食事・排泄・ 着脱・整理等・ 降園後について)	<ul style="list-style-type: none"> ・母親が働いているため、就学後は学童保育を利用する予定。 ・家庭では自分のペースで生活している。ただ、自分のしたいことを途中で止められると大暴れすることがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見通しをもって行動できるように、「何時になったら～をしよう」等と声をかける。 ・担任と連絡を密に取り、園でよい行動が見られた時はしっかり褒める。 	母親、祖母
幼稚園 保育所(園)	<ul style="list-style-type: none"> ・集団が苦手で予定が分からないとパニックになる。見通しをもたせることで大きな問題なく過ごせる。 ・思いを言葉にできず暴力的になることがあるが、静かな場所で落ち着かせると話が聞ける状態になる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝、スケジュールを視覚的に提示し、見通しをもって行動できるようにしている。 ・本児の好きな遊びの場面で、他児との関わりが広がるよう、大人が思いを言語化しながら他児との間をつないでいる。 	担任(担当) 関係職員
関係機関 (医療・福祉 地域生活・余暇)	<ul style="list-style-type: none"> ・アレルギーとけいれんの発作があり、〇〇病院にかかっている。 ・月に一度、児童発達支援センター(〇〇学園)の短時間通園を利用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主治医は、食物アレルギーやけいれんの状態を家庭、園に伝える。 ・児童発達支援センターの担当者は、保護者を通して家庭や園での様子を聞き、具体的な支援について助言する。 	〇〇病院 主治医△△ 児童発達支援センター担当□□

<評価及び引継ぎ事項>

<ul style="list-style-type: none"> ・見通しがもてるように視覚支援を行うことで、新規場面でもパニックになることが少なくなった。また、大人の関わりで思いを言葉で伝えようとするようになってきた。信頼関係が十分でない大人の関わりでは、納得できないことがある。 ・園での様子を家庭や関係機関と確認できたことで、支援内容の共通理解ができた。
--

以上の記載内容について同意します。また、以下の学校・関係機関との間で、「個別の教育支援計画」が活用されることに同意します。

学校・関係機関名

年 月 日
 保護者氏名 印